



平成26年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年9月27日

上場取引所 東

上場会社名 日本エンタープライズ株式会社
コード番号 4829 URL <http://www.nihon-e.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田勝典

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田中勝

TEL 03-5774-5730

四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第1四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第1四半期	1,139	26.2	59	△35.4	60	△35.0	81	87.2
25年5月期第1四半期	902	43.0	92	32.8	92	27.2	43	7.6

(注) 包括利益 26年5月期第1四半期 △21百万円 (—%) 25年5月期第1四半期 243百万円 (467.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第1四半期	217.16	216.63
25年5月期第1四半期	116.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第1四半期	4,759	3,859	78.2	9,868.85
25年5月期	5,069	3,953	75.3	10,125.77

(参考) 自己資本 26年5月期第1四半期 3,720百万円 25年5月期 3,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	180.00	180.00
26年5月期	—	—	—	—	—
26年5月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年12月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度の採用を決議しております。平成26年5月期(予想)の期末の1株当たり配当金につきましては、株式分割を考慮した金額を記載しております。

なお、当該株式分割を考慮しない場合の年間配当額は、200円となります。

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	20.9	520	39.7	500	27.7	315	△11.3	8.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年12月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度の採用を決議しておりますが、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、通期の1株当たり当期純利益を算出しております。

なお、当該株式分割を考慮しない場合の通期の1株当たり当期純利益は、835円54銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期1Q	377,000 株	25年5月期	377,000 株
② 期末自己株式数	26年5月期1Q	— 株	25年5月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期1Q	377,000 株	25年5月期1Q	377,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、財務諸表に対する監査手続が実施中であり、

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ以降の「経営成績に関する説明」をご覧ください。

2. 株式分割について

当社は、平成25年7月30日開催の取締役会及び平成25年8月23日開催の第25回定時株主総会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年12月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割し、単元株式数を100株とすることとしております。これに伴う平成26年5月期の配当予想及び業績予想につきましては、該当項目をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるモバイルコンテンツを取り巻く環境は、携帯電話の契約数が、平成25年8月末で1億3,444万台（注1）（前年同月末比6.2%増）まで拡大している中、iPhoneやAndroid端末等のスマートフォン（高機能携帯電話）の普及が本格化してきており、携帯電話の契約数に占める割合は、平成25年3月末の37.2%から平成26年3月末には、49.3%（注2）に増加することが見込まれるなど、同環境は大きく変化していくことが予想されます。

これらの状況において、当社グループといたしましては、高機能で付加価値の高いサービスの開発・提供及び新しい事業モデルの構築を推進し、より安定した企業基盤の確立と事業拡大に向けた一層の企業努力を重ねてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は11億39百万円（前年同四半期比26.2%増）、営業利益は59百万円（同35.4%減）、経常利益は60百万円（同35.0%減）、四半期純利益は81百万円（同87.2%増）となりました。

（注1） 社団法人電気通信事業者協会（TCA） 発表

（注2） 株式会社MM総研 発表

各セグメントの業績は、次のとおりです。

<コンテンツサービス事業>

コンテンツサービス事業におきましては、フィーチャーフォン（従来型携帯電話）からスマートフォンへの移行がより一層進む中、配信するコンテンツを自社制作することで「提供コンテンツの権利を自社で保有」する当社独自のビジネスモデルをベースに、提供するサイトやアプリの充実化を進めつつ、自社広告媒体を有効に活用してまいりました。

キャリア（移動体通信事業者）の公式サイトについては、フィーチャーフォン向け公式サイトへの会員数の減少をスマートフォン向け公式サイト会員の新規獲得で補ってまいりました。また、スマートフォン向け定額・使い放題サービスであるauスマートパスやYahoo!プレミアムへは、提供コンテンツの利用促進を図るとともに、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモが開始したスゴ得コンテンツへのコンテンツ提供を新たに開始いたしました。

携帯電話販売会社との協業によるアライアンス型月額課金コンテンツについては、新規会員の獲得に努めてまいりました。

また、豊富なコンテンツ資産を活かした新たな取り組みとして、メッセージングアプリ向けにスタンプの提供を開始した他、スタンプ自体を自ら制作するアプリの開発等、メッセージングアプリに関連するコンテンツの提供を積極的に推し進めてまいりました。

海外では、中国において、事業ドメインを電子コミックの配信サービスと位置付け、中国の作家や出版業界と連携しながら、人気小説を漫画化し、携帯電話向け電子コミックとして配信するビジネスモデルをベースに、積極的に推し進めてまいりました。

以上の結果、コンテンツサービス事業の売上高は5億79百万円、セグメント利益は1億82百万円となりました。

<ソリューション事業>

ソリューション事業におきましては、広告ビジネス「店頭アフィリエイト」について、キャリアのスマートフォン販売のプロモーション強化に合わせ、携帯電話販売会社との協業を促進することで、獲得件数を拡大させてまいりました。

企業向けコンテンツの企画、構築、運用、デバッグ、サーバ保守管理等のサービス提供については、当社の連結子会社である株式会社フォー・クオリアとの連携を強化し、スマートフォン及びタブレット（多機能携帯端末）を活用したニーズの拡大に合わせて、開発スピード・提供量・品質を充実させてまいりました。

また、昨年より開始している企業向けコスト削減ソリューション「リバースオークション」については、リバースオークション専用ポータルサイト「日本オープンマーケット」を平成25年6月に開設し、ASPサービス「Profair」を同年7月から正式に開始いたしました。

海外では、中国の上海エリアに出店した2店舗の携帯電話販売店（チャイナテレコムショップ）にて、携帯電話端末の拡販に努めてまいりました。

以上の結果、ソリューション事業の売上高は5億59百万円、セグメント利益は36百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して3億9百万円減少し47億59百万円

となりました。流動資産は、主に現金及び預金の減少により前連結会計年度末と比較して1億66百万円減少し32億78百万円となりました。固定資産においては、主に投資有価証券の減少により前連結会計年度末と比較して1億42百万円減少し14億81百万円となりました。

負債につきましては、主に未払法人税等の減少により前連結会計年度末と比較して、2億15百万円減少し9億円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益の計上がありました。剰余金の配当及びその他有価証券評価差額金の減少により前連結会計年度末と比較して94百万円減少し38億59百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月期の連結業績予想につきましては、平成25年7月9日公表の連結業績予想値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,708,287	2,515,348
受取手形及び売掛金	590,092	656,844
商品	11,781	13,338
仕掛品	37,321	35,804
貯蔵品	247	225
その他	97,496	56,928
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	3,445,028	3,278,290
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	43,027	49,976
土地	12,400	12,400
その他（純額）	30,044	28,941
有形固定資産合計	85,471	91,317
無形固定資産		
のれん	113,487	105,558
ソフトウェア	192,909	223,376
その他	92	74
無形固定資産合計	306,489	329,009
投資その他の資産		
投資有価証券	919,653	729,573
長期預金	200,000	200,000
長期貸付金	22,453	22,111
繰延税金資産	8,190	7,704
その他	108,055	135,332
貸倒引当金	△26,148	△33,797
投資その他の資産合計	1,232,206	1,060,924
固定資産合計	1,624,167	1,481,251
資産合計	5,069,195	4,759,542

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	236,445	287,484
未払法人税等	290,257	51,920
賞与引当金	6,216	12,194
役員賞与引当金	32,650	172
その他	274,576	315,535
流動負債合計	840,146	667,307
固定負債		
退職給付引当金	19,064	20,000
その他	256,935	213,219
固定負債合計	275,999	233,220
負債合計	1,116,145	900,528
純資産の部		
株主資本		
資本金	595,990	595,990
資本剰余金	473,942	473,942
利益剰余金	2,260,531	2,272,950
株主資本合計	3,330,464	3,342,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	470,232	347,874
為替換算調整勘定	16,717	29,800
その他の包括利益累計額合計	486,949	377,674
新株予約権	658	1,129
少数株主持分	134,976	137,326
純資産合計	3,953,049	3,859,014
負債純資産合計	5,069,195	4,759,542

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
売上高	902,540	1,139,245
売上原価	462,581	617,845
売上総利益	439,958	521,400
販売費及び一般管理費	347,461	461,609
営業利益	92,496	59,790
営業外収益		
受取利息	1,701	882
受取配当金	1,126	158
受取賃貸料	390	—
業務受託手数料	—	450
その他	261	746
営業外収益合計	3,479	2,238
営業外費用		
支払利息	17	—
持分法による投資損失 為替差損	3,089	—
支払手数料	—	1,500
その他	103	198
営業外費用合計	3,559	1,915
経常利益	92,417	60,113
特別利益		
投資有価証券売却益	—	107,540
特別利益合計	—	107,540
特別損失		
持分変動損失	—	105
災害義援金	41	—
特別損失合計	41	105
税金等調整前四半期純利益	92,375	167,548
法人税、住民税及び事業税	34,817	54,577
法人税等調整額	11,637	24,796
法人税等合計	46,455	79,373
少数株主損益調整前四半期純利益	45,919	88,175
少数株主利益	2,177	6,304
四半期純利益	43,741	81,870

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	45,919	88,175
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	202,312	△122,357
為替換算調整勘定	△4,712	13,083
その他の包括利益合計	197,600	△109,274
四半期包括利益	243,520	△21,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241,342	△27,404
少数株主に係る四半期包括利益	2,177	6,304

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計 (注)
	コンテンツ サービス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	479,909	422,631	902,540	—	902,540
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	9,462	9,462	△9,462	—
計	479,909	432,093	912,002	△9,462	902,540
セグメント利益	139,948	88,497	228,446	△135,949	92,496

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△135,949千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計 (注)
	コンテンツ サービス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	579,524	559,721	1,139,245	—	1,139,245
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	14,534	14,534	△14,534	—
計	579,524	574,255	1,153,780	△14,534	1,139,245
セグメント利益	182,030	36,600	218,630	△158,839	59,790

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△158,839千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。